

秩父市地域防災計画 (大雪対策計画)を改訂しました

昨年2月に発生した大雪を教訓に、地域防災計画における「大雪対策計画」を改訂しました。
改訂のポイントについては、次のとおりです。

①道路除雪体制の確立

道路交通を確保するため、県の機関、警察署および消防本部との連携を強化します。

除雪については、道路除雪計画を策定し、除雪優先道路として、緊急輸送病院、産科や透析実施医療機関、消防署、ドクターヘリ等の離着陸場、公共交通の拠点箇所、雪捨て場、水道施設への経路となる道路および主要幹線等への通り抜け道路などとししました。

また、市道の除雪作業の出動基準を定め、迅速な対応ができるようにしました。

②なだれ等による孤立対策

なだれなどにより、孤立するおそれのある地区について、その地区が必要とする支援を事前に把握します。

また、実際に孤立した場合は、孤立世帯数、病人の発生の有無などを把握し、関係機関と連携の上、医薬品や食料などの輸送・避難救助を行います。

③県などの関係機関との連携強化

積雪情報などを共有するため、関係機関との連絡体制を確立します。

また、必要に応じて県や消防などの関係機関に対して職員の派遣を要請します。

④自衛隊の派遣要請

相当な孤立集落が発生するなど自衛隊の応援が必要な場合には、直ちに災害派遣要請を県知事に行います。

⑤ICT機器等を活用した的確な情報収集

雪害現場の状況を可視化し、適切な応急体制を進めるために、オンラインによるビデオ通話等のICTを活用した情報収集を行います。また、大雪特別警報が発令された場合は、昼夜を問わず防災行政無線や安心・安全メールなどで市民の皆さんに情報伝達します。

⑥市民による共助体制と除雪ボランティア制度の構築

幹線以外の生活道路・通学路などの除雪については、町会などの団体を通じ、共助による除雪体制を構築します。

また、お年寄り世帯など除雪が困難な世帯については、社会福祉協議会と協議し、除雪ボランティア制度を構築します。

今後は、この計画に基づいて、大雪対策を行います。詳細については、市HPをご覧ください。
〔秩父市防災計画〕で検索！

固危機管理課 ☎ 22-2206

剣道の大会で優勝し全国大会に出場！



秩父市剣道スポーツ少年団の選手5名が、埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会（小学生団体の部）で優勝し、3月に上尾市で行われる全国大会に出場します。

奥左から、山中千央さん（原谷小）、新井達也くん（荒川東小）、黒澤かのんさん（荒川東小）、手前左から、奥野琉壘くん（原谷小）、鈴木 翔くん（皆野町）

山根氏は、平成16年7月から埼玉県雇用対策協議会理事として、10年間にわたり、地域の発展および職業安定行政の運営において、多大な協力を行い、労働行政の推進に顕著な功績を残されました。



山根 益男 氏
(中村町)

職業安定行政関係功労者
厚生労働大臣表彰

ご寄附ありがとうございました

次の方々から、社会福祉のために寄附をいただきました。温かな善意に感謝し、ご紹介します。(平成26年12月)

- ▶ 12月10日、クボバリエアカデミー様から、40,000円
- ▶ 12月19日、秩父仏教会様から、81,506円
- ▶ 12月22日、佐藤まり子様から、150,000円

神林昭周 氏（荒川上田野）は、市議会12月定例会において議会の同意を得て、12月16日付けで久喜市長から固定資産評価審査委員会委員に選任されました。



秩父市固定資産評価
審査委員会委員を選任